

第8回 鶴岡市地域医療を考える市民委員会

期 日 令和3年9月13日 (月)

時 間 午後1時30分～3時30分

場 所 鶴岡市役所 別棟2号館
21、22、23号会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 説明・報告・協議

(1) 事務局説明

「鶴岡市の地域医療に関するアンケート」の結果報告

事務局 鶴岡市 地域包括ケア推進室

(2) 協 議

・「鶴岡市の地域医療に関するアンケート」について

・市民勉強会の仕組みづくりについて

4 そ の 他

5 閉 会

第8回 鶴岡市地域医療を考える市民委員会 名簿

(敬称略)

NO	組織等	役職	氏名	備考
1	からだ館 にこにこ倶楽部		北風 寸美	
2	元鶴岡市私立幼稚園・認定こども園連合会保護者会		木村 博之	
3	元鶴岡市立荘内病院 ボランティア		佐藤 明美	
4	鶴岡市公立保育園保護者会連絡協議会	会長	佐藤 順一	欠席
5	株式会社 瀬尾医療連携事務所	代表取締役	瀬尾 利加子	
6	元朝日地域保健委員会		土田 三香子	
7	関根いきいき体操講座	代表	原田 藤四郎	
8	もみじが丘	施設長	本間 志保子	
9	山形県看護協会		本間 優子	
10	つるおかオレンジサポートの会	代表	真島 正博	
11	鶴岡市介護保険事業者連絡協議会 居宅支援事業者部会	幹事	水口 英俊	

コーディネーター

慶応義塾大学 環境情報学部	教授	秋山 美紀	オンライン参加
---------------	----	-------	---------

オブザーバー

鶴岡地区医師会	会長	福原 晶子	欠席
鶴岡地区歯科医師会	副会長	迎田 健	欠席
鶴岡地区薬剤師会	会長	鈴木 千晴	
鶴岡市立荘内病院	病院事業管理者	八木 実	
鶴岡市立荘内病院	院長	鈴木 聡	

鶴岡市	市長	皆川 治	
-----	----	------	--

第8回 鶴岡市地域医療を考える市民委員会

オンライン出席
秋山美紀 コーディネーター

座席表

日時: 令和3年9月13日(月)
13:30~15:30
場所: 鶴岡市役所 別棟2号館
21、22、23号会議室

スクリーン

瀬尾委員長

○

パソコン

入口

北風 寸美
委員

○

木村 博之
委員

○

佐藤 明美
委員

○

土田 三香子
委員

○

原田 藤四郎
委員

○

鈴木 千晴
鶴岡地区薬剤師会長

○

zoom
ビデオカメラ

本間 志保子
委員

○

本間 優子
委員

○

眞島 正博
委員

○

水口 英俊
委員

○

八木 実
荘内病院病院事業管理者

○

鈴木 聡
荘内病院 院長

○

○ ○
佐藤正 佐藤清一
室主 地域推進
室主 地域推進
室主 地域推進
室主 地域推進

○ ○
三浦 巧 伊藤 健
室主 地域推進
室主 地域推進
室主 地域推進
室主 地域推進

○ ○
渡邊 健 皆川 治
社健 市
部康 長
長福 長

○ ○
齋藤 芳 今野一夫
室主 地域推進
室主 地域推進
室主 地域推進
室主 地域推進

○ ○
吉田 宏 佐藤 豊
連携室 荘内病院
連携室 荘内病院
連携室 荘内病院
連携室 荘内病院

○ ○
土田信一 富樫 清
主幹 兼地 荘内病院
主幹 兼地 荘内病院
主幹 兼地 荘内病院
主幹 兼地 荘内病院

報道関係者席

傍聴席

受付

入口

「鶴岡市の地域医療に関するアンケート」 所属団体に対するアンケート調査（最終報告） 令和3年9月1日 現在 【資料1】

所属機関コード	所属団体名	役職	委員氏名	構成員数	アンケート対象者数	回答者数	回答率	年代	お住いの地域	職種等	実施方法等
1	からだ館 にこにこ倶楽部		北風 寸美	20	20	11	55%	50～60代	鶴岡市内	主婦	サークルで集まった時に回答
2	元鶴岡市私立幼稚園・認定こども園連合会保護者会		木村 博之	1000	40	24	60%	30～40代	鶴岡市内	会社員等	電子申請
3	元鶴岡市立荘内病院 ボランティア		佐藤 明美	13	13	6	46.1%	60～70代	鶴岡市内	無職	荘内病院を通じて用紙配布
4	鶴岡市公立保育園保護者会連絡協議会	会長	佐藤 和広	290	237	137	57.8%	20～40代	鶴岡市内	会社員等	西部 52/68 76.4% 南部 53/95 55.7% かたほみ 32/68 47.0%
5	株式会社 瀬尾医療連携事務所	代表取締役	瀬尾 利加子	60	11	11	100%	20～60代	旧市内	医療従事者と市民の両方	電子申請
6	元朝日地域保健委員会		土田 三香子	36	36	14	38.8%	40～60代	朝日地域	会社員、主婦、農業等	市事務局より各会員宛てに郵送
7	関根いきいき体操講座	代表	原田 藤四郎	15	10	10	100%	70代	藤島地域(関根)	農業等	定例会にて記載
8	もみじが丘(障害者施設)	施設長	本間 志保子	12	10	10	100%	30～60代	温海地域	福祉関係者	用紙配布し、職場で記入
9	山形県看護協会		本間 優子	7838	75	17	22.6%	20～60代	庄内全域	医療従事者	電子申請
10	つるおかオレンジサポートの会	代表	真島 正博	38	30	13	43.3%	50～80代	鶴岡市内	福祉関係者、看護師等の退職者	電子申請、用紙配布併用
11	鶴岡市介護保険事業者連絡協議会 居宅支援事業者部会	幹事	水口 英俊	177	177	115	64.9%	20～60代	鶴岡市内	福祉関係者	メールにて依頼 電子申請と用紙配布併用
	所属(その他)					31					
	合計			9499	659	399	60.5%				

アンケート用紙による回答297件、Web回答102件

鶴岡市地域医療を考える市民委員会

・・・10年後の鶴岡市の“地域医療の未来像”・・・

＜ここ通る通り合い地域医療＞

市民と医療者が信頼し合い、適切な医療が受けられている

＜地域の基幹病院たる荘内病院＞

荘内病院が地域に信頼され、その使命を果たしている

R10年度 <7年後のありたい姿>

- ・市民応援団などが立ち上がっている
- ・医療、介護の仕組みやルールと市民のニーズがかみ合っている。

満足度調査

<市民勉強会同士のネットワーク形成>

- ・地域医療のよき理解者を結びつける
- ・継続して参加する楽しみを得る

R7年度 <4年後のありたい姿>

- ・地域医療連携の仕組みや個々の役割、制度を理解している市民が増えている。
- ・医療従事者とのコミュニケーションの輪が広がり始めている。

理解度調査

<市民勉強会の実施・充実>

- ・地域医療のよき理解者を増やす
- ・医療従事者の参加促進
- ・市民と医療従事者が顔を合わせ、共に考える

R4年度 <1年後のありたい姿>

- ・市民勉強会が実施され、地域医療を正しく理解する意識が市民に広まり始めている。

意識調査

<市民勉強会の立ち上げ>

- ・勉強会の講師役を増やす
- ・知らせたい内容を充実する

＜鶴岡市地域医療を考える市民委員会＞

【市民勉強会の仕組みづくり】

【プレアンケートの実施】

プレアンケート

鶴岡市地域医療市民アクションプランの策定

【市民委員会での意見】

- ・自分たちが学んだことをみんなに知らせたい
- ・みんなの認識も知りたい

理解と普及の仕組みづくり 『市民勉強会のあり方検討』

現状・認識を知る 『市民アンケートの実施』

市民アクションプラン (市民勉強会) の取組

鶴岡市地域医療を考える市民委員会 3年スケジュール

資料3

R3.9.13 鶴岡市地域医療を考える市民委員会

令和元年度

R1.12.19開催

R2.3.16開催

R2.7.27開催

R2.11.13開催

R3.2.12開催

R3.3.25開催

第1回
「市民委員会の主旨説明とスケジュールの確認」
(地域医療に関する委員のディスカッション)

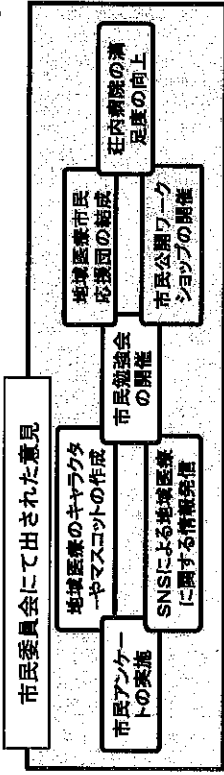
第2回
「地域医療における在り病院のあり方」
(開かれた病院の実現、患者満足度の向上)

第3回
「コロナ禍における地域医療と市民行動について考える」
(第2波、第3波に備えて)

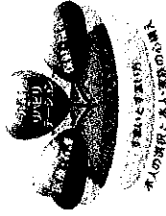
第4回
「地域医療の市民への理解と普及」
(市民への積極的な情報発信と医療ニーズの把握)

第5回
「市民周知や広報の手法を考える」
「アンケートやデータ収集を実施するには」
「市民勉強会のあり方を考える」

これまでの市民委員会での議論のまとめ



- 市民委員会によるアクション
- ① 地域医療について市民周知や広報の実施(市民勉強会の活用等)
 - ② 地域医療についての市民アンケートの実施
 - ③ 地域医療市民アクションプランの策定



令和3年度の予定(案)

R3.6.9開催

R3.9.13開催

R3.12月開催

R4.2月開催

第7回
第7回鶴岡市地域医療を考える市民委員会
アンケートの実施について

第8回
第8回鶴岡市地域医療を考える市民委員会
市民勉強会の仕組みづくりについて

第9回
第9回鶴岡市地域医療を考える市民委員会
市民勉強会の仕組みづくりについて

第10回
第10回鶴岡市地域医療を考える市民委員会
鶴岡市地域医療市民アクションプランの取りまとめ

令和3年度の目標

鶴岡市地域医療市民アクションプランの策定

市民勉強会の仕組みづくり

プレ市民アンケートの実施

実行

地域医療の目指す姿

- 〇 < ところ通り合い 地域医療 > 市民と医療者が信頼し合い、適切な医療が受けられている
- 〇 < 地域の基幹病院たる 在り病院 > 在り病院が地域に信頼され、その使命を果たしている

第2次鶴岡市総合計画 (計画期間：2019年度～2028年度)

全世代全対象型の地域包括ケアの推進

10年後 (2031年) の鶴岡市の“地域医療の未来像”

＜こころ通い合う地域医療＞

- ・ 市民と医療者が信頼し合い、適切な医療が受けられている
- ・ 市内病院を中核とした関係機関の連携により、将来に渡って安心して医療が受けられる環境が整っている

地域医療市民アンケート

〔目的〕

- ・ 地域医療に対する市民の意識を把握する
- ・ 市民勉強会の取組の評価と二入を探る

2028 第3回調査

2025 第2回調査

2022 第1回調査

市民アクションの実践の場

＜地域医療を学び考える市民勉強会＞

＜コンセプト (基本方針) ＞

- 鶴岡市の地域医療の現状や仕組みを正しく理解する
- 市民・医療関係者・行政が一緒に学び考える
- 地域医療から考えるまちづくり、人づくり
- 在宅での看取りまで考える地域包括ケアへの理解

【第4ステージ (2029～2031年度)】
参加者のつながりによる活動の展開

【第3ステージ (2026～2028年度)】
参加者を結びつけ、ともに考える

【第2ステージ (2023～2025年度)】
地域医療の良き理解者を増やす

【第1ステージ (2022年度)】
市民勉強会の立ち上げ

10年後の鶴岡市の地域医療の未来像に向けた「3つの市民アクション」

地域医療連携の仕組みを理解しよう

自分たちが受けたい医療を考えよう

ともに考え、行動する仲間を増やそう